

Jr.ウインターカップ2021-22 2021年度第2回全国U15バスケットボール選手権大会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	Jr.ウインターカップ2021-22 2021年度第2回全国U15バスケットボール選手権大会					
●日程	令和4年1月4日 (火)		～	令和4年1月8日 (土)		
●会場	武蔵野の森総合スポーツプラザ					
●講師	藤田 様 (香川県)					
●スケジュール	令和4年1月4日 (火)					
	15:00 会場入り					
	15:30 PGC					
	～16:40 更衣、各自ウォーミングアップ					
	16:45 コートイン、コートインスペクション					
17:00 試合開始						
●担当試合	令和4年1月4日 (火) 17:00 ～					
	対戦カード	京都ハンナリーズU15 (京都府)		VS	弘前市立津軽中学校 (青森県)	
	クレー	CC	杉浦 氏 (東京都)	U1	池嶋	U2 竹平 氏 (愛知県)
	講師/主任	藤田 様 (香川県)				
	講評	<p>・ヘッドコーチの振る舞いに関しては、もっと気を配っておく。直接、インテグリティによるTFのようなものはないが、常に叫んでいる姿はとても気になった。レフェリーが一声かけるような場面があってもよかった。</p> <p>・メカやプライマリに関してはスムーズに行えていたが、途中でファウルコールが重たくなっていた場面があったので、ゲーム開始時のように明らかなものは簡単に積み上げていく。</p> <p>・クレー全体を通してクロック管理にもっと意識を置く。ゲーム全体を通してクロックに違和感を感じる場面が数回あった。たかが1秒かもしれないが勇気をもって、情報を持っているレフェリーが訂正してほしかった。</p>				
	自己の感想	<p>私自身、公認審判員になり初めての全国大会で堅さもありましたが、今持てる力は発揮できたと思います。しかし、明日に向けて改善していかなければいけない部分も再確認することができました。一番感じたことは、ベーシックの大切さです。フィジカルやスピード、戦術などのレベルは府の大会より上がりますが、取り組むべき内容は普段と変わらないと思いました。全国大会だからといって背伸びをしたり、特別なことをしたりする必要はなく、当たり前のことを淡々と1ゲーム積み重ねていくことが重要だと思います。それができなかったときに判定が難しいケースが起こり、処置のミスにつながってしまうと感じました。本日のゲームでは大きなトラブルにはなりませんでした。そうなる要素もあったゲームでもありました。</p> <p>明日以降も割り当てをいただいているので、今日の反省を活かしていきたいと思っています。</p>				

Jr.ウインターカップ2021-22 2021年度第2回全国U15バスケットボール選手権大会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	Jr.ウインターカップ2021-22 2021年度第2回全国U15バスケットボール選手権大会					
●日程	令和4年1月4日 (火) ~		令和4年1月8日 (土)			
●会場	武蔵野の森総合スポーツプラザ					
●講師	なし					
●スケジュール	令和4年1月5日 (水)					
	8:00 会場入り					
	8:15 更衣、各自ウォーミングアップ					
	8:45 PGC					
	9:15 コートイン、コートインスペクション					
	9:30 試合開始					
●担当試合	令和4年1月5日 (水) 9:30 ~					
	対戦カード	SEA DRAGON (岡山県)		VS	Orange Indians (岩手県)	
	クルー	CC	安藤 氏(千葉県)	U1	池嶋	U2 西川 氏(福井県)
	講師/主任	なし				
	講評	<p>クルーで試合後にカンファレンスを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ゲームを通してメカもスムーズで、プライマリレフェリーがコールする場面が多々あったのでよかった。ダブルコールの際にもアイコンタクトを取り、レポートをしていた。 ・全員がクロックに意識を置く中で、1秒単位の訂正を細かく行えたことはよかった。 ・タイムアウトのたびに次のボールステータス、位置の確認、残りのタイムアウトの回数をクルーで共有することで事前にミスを防ぐことができた。(今回のケースはT.Oがタイムアウトの数をカウントし忘れていたが、大きなトラブルにはならなかった。) 				
	自己の感想	<p>全国大会2日目ということで勝ち上がり同士のゲームでした。PGCを行う中で女子ゲームで起こりうる様々な現象についてクルーで共有できたことはとてもよかった。実際にそのような現象が起こった際に冷静に処置ができ、スムーズにゲームが運営できました。</p> <p>自分自身としては、まずは昨日のゲームで課題になったことをやり切ることでした。T.Oとコミュニケーションをとることでクロックの管理も細かく訂正でき、非常によかったです。ボールコントロールが変わったかどうか際どいケースに関しても、冷静に対応ができました。</p> <p>明日も割り当てをいただいているので、この2日間で実践したことをベシックに積み重ねていき、中学校での最後のゲームになる選手たちが「やり切った」と思えるようなゲームにしていきたいと思います。</p>				

Jr.ウインターカップ2021-22 2021年度第2回全国U15バスケットボール選手権大会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	Jr.ウインターカップ2021-22 2021年度第2回全国U15バスケットボール選手権大会					
●日程	令和4年1月4日 (火) ~		令和4年1月8日 (土)			
●会場	武蔵野の森総合スポーツプラザ					
●講師	丸山 様 (本部)					
●スケジュール	令和4年1月6日 (木)					
	10:00 会場入り 12:00 更衣、各自ウォーミングアップ 12:30 PGC 13:45 コートイン、コートインスペクション 14:00 試合開始					
●担当試合	令和4年1月6日 (木) 14:00 ~					
	対戦カード	Lake Force (滋賀県)		VS	BLUE UNISON (熊本県)	
	クルー	CC	稲田 氏(東京都)	U1	丹羽 氏(東京都)	U2 池嶋
	講師/主任	丸山 様 (本部)				
	講評	<p>・1ゲームを通してメカも判定も大きな崩れはなく、スムーズに行えた。プライマリのレフェリーが鳴らすべくものを鳴らしていたので、違和感なくゲームを終えた。</p> <p>・お互いのプライマリをそれぞれが尊重していたので、2番手で鳴らすタイミングもよく、信頼関係が見えたのが非常によかった。</p> <p>・バスケットボールは接触があり、その度合いや影響によってファウル、ノーファウル、マージナルなど様々な判定をする。今日のゲームでは、しっかりと見極めて笛を入れることができていた。</p> <p>・今日のゲームは全国大会の準々決勝をかけたゲームだったが、クルーでしっかり収めることができた。それぞれが次のライセンスアップを目指して、どのゲームでもこれくらい積極的に笛を入れ、いろいろなことにチャレンジして欲しい。</p>				
	自己の感想	<p>大会3日目、準々決勝をかけた3回戦でした。1、2回戦のゲームでの反省を活かし、1Qから積極的に笛を入れていくことでクリーンなゲーム展開になったと思います。クルーワークもよく、タイムアウトやクォーター間でコミュニケーションをとることでお互いの信頼関係を築き、ゲームを終えることができました。</p> <p>今回初めて全国大会へ派遣していただいたこともあり、初めは堅さもありましたが無事やり切ることができました。3試合担当させていただきましたが、どのゲームも学ぶことが多く、全国の審判仲間と共に刺激し合え、とても実りある3日間でした。今回の経験で得たことを今後の審判活動に活かしながら、これからも1試合1試合いただいた割り当てを責任をもって担当していきたいと思ひます。そして、上級審判員を目指し今後も自己研鑽を重ねていきたいと思ひます。</p> <p>最後になりましたが、今回派遣していただき貴重な体験をさせていただきましたことに、茅野委員長をはじめ、大阪府審判委員会の皆様に心より感謝申し上げます。また、現地で審判活動に専念できるように細かいところまで様々なことにご配慮いただいた東京都協会及び審判委員会の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>				